

ブッシュ米政権のイラク新決議案

イラク占領政策が行き詰まり米英占領軍の撤退を求める国際世論が強まる中、ブッシュ米政権は三日、米国の指揮下で多国籍軍を編成するとした新しい安保理決議案を提示しました。一方、欧州ではイラク戦争を機に、欧州連合（EU）憲法に戦争放棄条項を盛り込ませるための署名運動が広がっています。この運動の中核となってきたイタリア平和委員会のダビデ・ベッルーティ全国調整委員に、新決議案をどうみるか、署名運動の広がりや背景について電話でインタビューしました。

(島田峰隆記者)

イタリア平和委員会

ダビデ・ベッルーティさんに聞く



イラクでは毎日のように米兵が殺されてお

り、占領を続ける米英軍にとってはますます統制したい状況になっ

うとする新たな試みといえます。米英軍の占領体制を維持しながら、他国に資金や人の負担を強いるもので

しかし、なぜイラクが混乱するかといえ

上からこの運動に取

ます。同月十二日には

占領は民主主義生まない EU憲法に戦争放棄条項を

押し付けるという前提

る、ことを憲法の第一

も、欧州が平和に貢献

もともと侵略戦争と占領という誤った種をま

目撃し、反戦運動に触

か期待しています。

民主主義という正しい

国民の平和への思いは

十月から始まる、E

米政府が今回提出し

各国語で署名

わたりは一年以